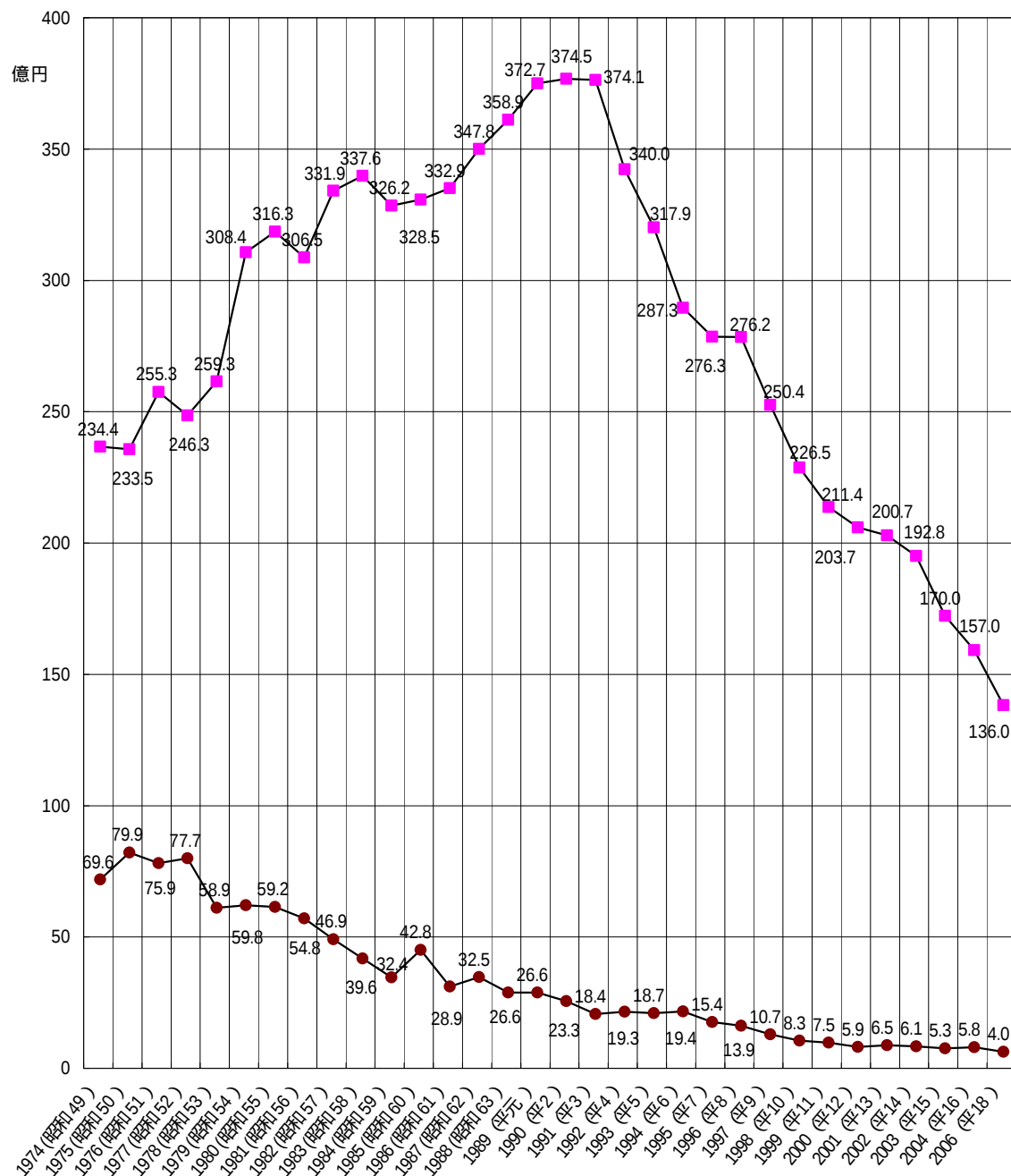


【銅 鉄器販売額の推移】

年	銅器 (非鉄合金含む)		鉄器	
	販売額 (千円)	前回比(%)	販売額 (千円)	前回比(%)
2001(平13)	20,067,859	-	653,964	-
2002(平14)	19,279,840	96.1	609,395	93.2
2003(平15)	17,004,411	88.2	526,729	86.4
2004(平16)	15,699,548	92.3	580,742	110.3
2006(平18)	13,596,361	86.6	401,727	69.2



【銅器品種別販売額】

品 種	2006年(平成18年)		2004年(平成16年)		前回比 (%)
	販売額(千円)	構成比(%)	販売額(千円)	構成比(%)	
神 仏 具	7,821,199	57.5	8,157,819	52.0	95.9
室 内 置 物	1,371,135	10.1	1,371,730	8.7	100.0
花 器	729,628	5.4	935,676	6.0	78.0
屋 外 置 物	485,841	3.6	1,323,822	8.4	36.7
香 炉	413,117	3.0	598,145	3.8	69.1
茶 道 具	299,682	2.2	543,616	3.5	55.1
そ の 他	2,475,759	18.2	2,768,740	17.6	89.4
計	13,596,361	100.0	15,699,548	100.0	86.6

その他...文具・小物等、パネル、エクステリア製品等。

【鉄器品種別販売額】

品 種	2006年(平成18年)		2004年(平成16年)		前回比 (%)
	販売額(千円)	構成比(%)	販売額(千円)	構成比(%)	
室 内 置 物	220,752	55.0	305,651	52.6	72.2
文具・小物等	40,989	10.2	51,956	9.0	78.9
茶 道 具	14,267	3.5	60,547	10.4	23.6
そ の 他	125,719	31.3	162,588	28.0	77.3
計	401,727	100.0	580,742	100.0	69.2

その他...花器、屋外置物、香炉、パネル等。

【銅器品種別販売額及び割合の推移】

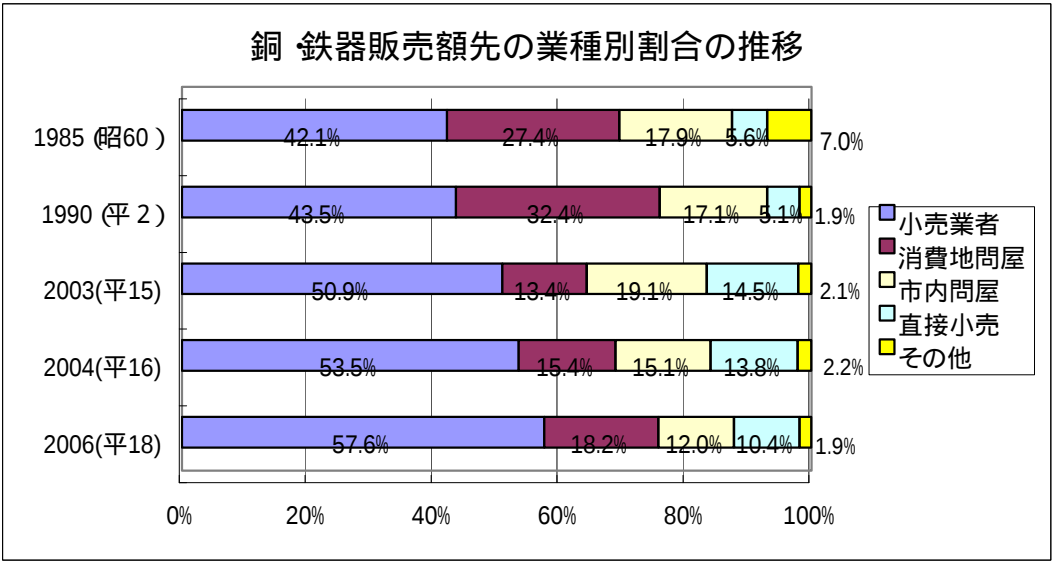
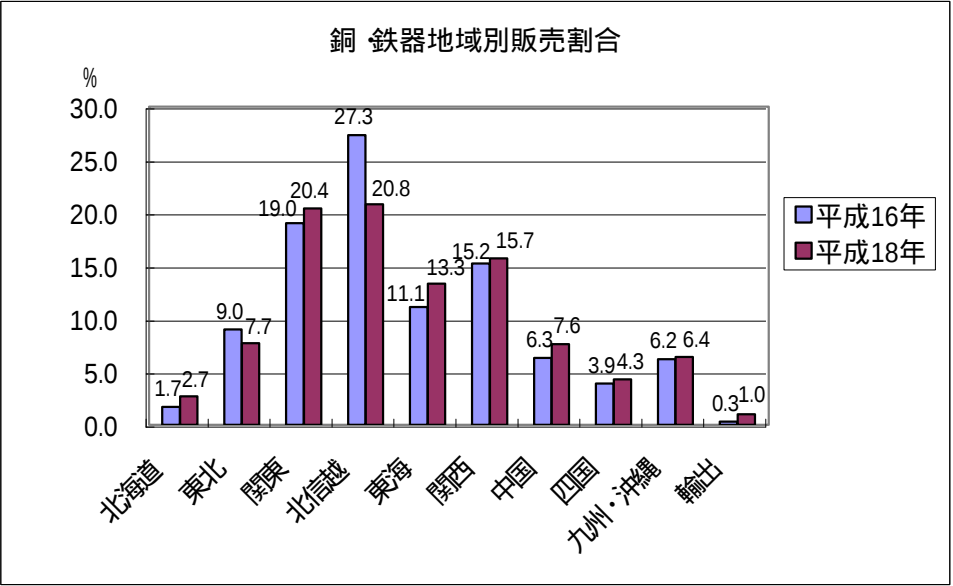
(単位:億円)

	1985(昭60)		1990(平2)		2003(平15)		2004(平16)		2006(平18)	
	販売額	構成比	販売額	構成比	販売額	構成比	販売額	構成比	販売額	構成比
神 仏 具	121.6	37.0%	143.8	38.4%	83.6	49.2%	81.6	52.0%	78.2	57.5%
室 内 置 物	58.5	17.8%	52.2	13.9%	11.7	6.9%	13.7	8.7%	13.7	10.1%
花 器	51.5	15.7%	61.6	16.4%	11.5	6.8%	9.4	6.0%	7.3	5.4%
屋 外 置 物	26.6	8.1%	38.5	10.3%	18.5	10.9%	13.2	8.4%	4.9	3.6%
香 炉	16.6	5.1%	17.7	4.7%	8.7	5.1%	6.0	3.8%	4.1	3.0%
茶 道 具	21.7	6.6%	25.3	6.8%	4.7	2.8%	5.4	3.4%	3.0	2.2%
そ の 他	32.0	9.7%	35.4	9.5%	31.3	18.4%	27.7	17.7%	24.8	18.2%
計	328.5	100.0%	374.5	100.0%	170.0	100.0%	157.0	100.0%	136.0	100.0%

【鉄器品種別販売額及び割合の推移】

(単位:億円)

	1985(昭60)		1990(平2)		2003(平15)		2004(平16)		2006(平18)	
	販売額	構成比	販売額	構成比	販売額	構成比	販売額	構成比	販売額	構成比
室 内 置 物	25.3	59.1%	12.3	52.8%	1.9	35.8%	3.1	53.4%	2.2	55.0%
文具・小物等	7.3	17.1%	4.9	21.0%	1.3	24.5%	0.5	8.6%	0.4	10.0%
茶 道 具	3.4	7.9%	3.0	12.9%	0.6	11.3%	0.6	10.3%	0.1	2.5%
花 器	1.7	4.0%	0.8	3.4%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	0.0	0.0%
そ の 他	5.1	11.9%	2.3	9.9%	1.5	28.3%	1.6	27.7%	1.3	32.5%
計	42.8	100.0%	23.3	100.0%	5.3	100.0%	5.8	100.0%	4.0	100.0%



【鑄造法別事業所数と生産額】

○銅器

製法	2006年(平成18年)			2004年(平成16年)			前回比(%)	
	事業所数	年間生産額(千円)	構成比(%)	事業所数	年間生産額(千円)	構成比(%)	事業所数	生産額
生型	47	2,782,150	50.4	52	2,337,888	40.8	90.4	119.0
焼型	13	137,190	2.5	8	105,900	1.8	162.5	129.6
双型	7	395,802	7.2	9	443,403	7.8	77.8	89.3
ガス型	15	539,988	9.8	21	555,222	9.7	71.4	97.3
蝋型	3	8,830	0.2	7	105,008	1.8	42.9	8.4
ロストワックス	11	377,257	6.8	12	348,091	6.1	91.7	108.4
金型	5	389,078	7.0	4	467,309	8.2	125.0	83.3
その他	26	895,024	16.2	27	1,364,873	23.8	96.3	65.6
計	127	5,525,319	100	140	5,727,694	100	90.7	96.5

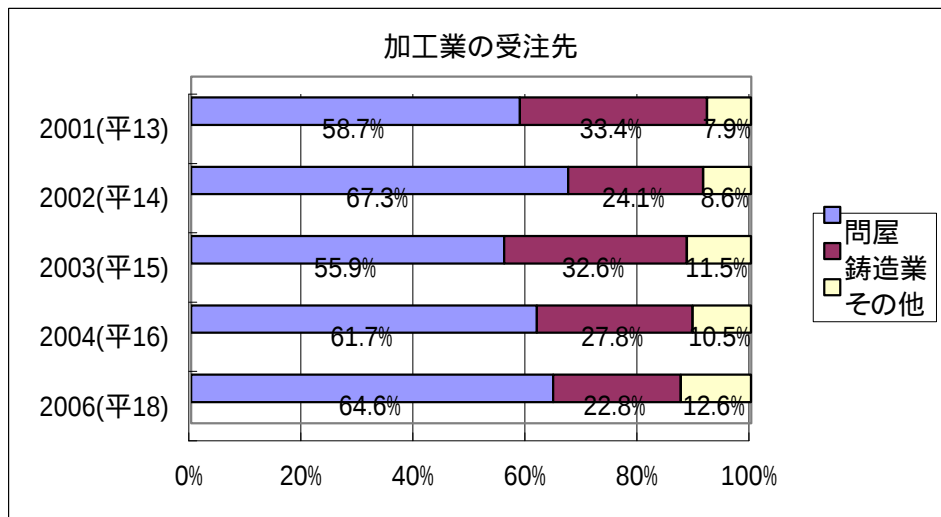
同一事業所で複数の製法を行っている場合は、事業所数を重複して計上した。

○鉄器

製法	2006年(平成18年)			2004年(平成16年)			前回比(%)	
	事業所数	年間生産額(千円)	構成比(%)	事業所数	年間生産額(千円)	構成比(%)	事業所数	生産額
生型	5	169,327	80.5	7	382,687	93.5	71.4	44.3
双型	2	41,087	19.5	4	26,700	6.5	50.0	153.9
計	7	210,413	100.0	11	409,387	100.0	63.6	51.4

【加工工程別事業所数と加工額】

品種	2006年(平成18年)			2004年(平成16年)			前回比(%)	
	事業所数	加工額(千円)	構成比(%)	事業所数	加工額(千円)	構成比(%)	事業所数	加工額
溶接	8	31,910	3.1	9	40,040	3.5	88.9	79.7
研磨	30	223,799	22.1	33	287,522	25.4	90.9	77.8
彫金	24	80,726	8.0	21	108,795	9.6	114.3	74.2
着色	52	506,242	50.0	48	516,670	45.7	108.3	98.0
仕上げ	17	170,611	16.8	16	177,746	15.7	106.3	96.0
計	131	1,013,288	100.0	127	1,130,773	100.0	103.1	89.6



事業所数と従事者数】

○問屋

	1985(S60)	1990(H2)	2003(H15)	2004(H16)	2006(H18)	前回比(%)
事業所数(社)	135	125	78	75	58	77.3
従事者数(人)	1,599	1,400	814	706	702	99.4

○鋳造

	1985(S60)	1990(H2)	2003(H15)	2004(H16)	2006(H18)	前回比(%)
事業所数(社)	164	151	96	88	64	72.7
従事者数(人)	1,750	1,573	885	788	760	96.4

	うち鉄器を扱う事業所	左のうち鉄器のみ
事業所数(社)	7	3
従事者数(人)	61	16

○溶接

	1985(S60)	1990(H2)	2003(H15)	2004(H16)	2006(H18)	前回比(%)
事業所数(社)	12	10	8	9	8	88.9
従事者数(人)	28	21	14	13	11	84.6

○研磨

	1985(S60)	1990(H2)	2003(H15)	2004(H16)	2006(H18)	前回比(%)
事業所数(社)	49	49	34	33	30	90.9
従事者数(人)	91	97	81	80	78	97.5

○彫金

	1985(S60)	1990(H2)	2003(H15)	2004(H16)	2006(H18)	前回比(%)
事業所数(社)	45	39	24	21	24	114.3
従事者数(人)	110	97	48	45	46	102.2

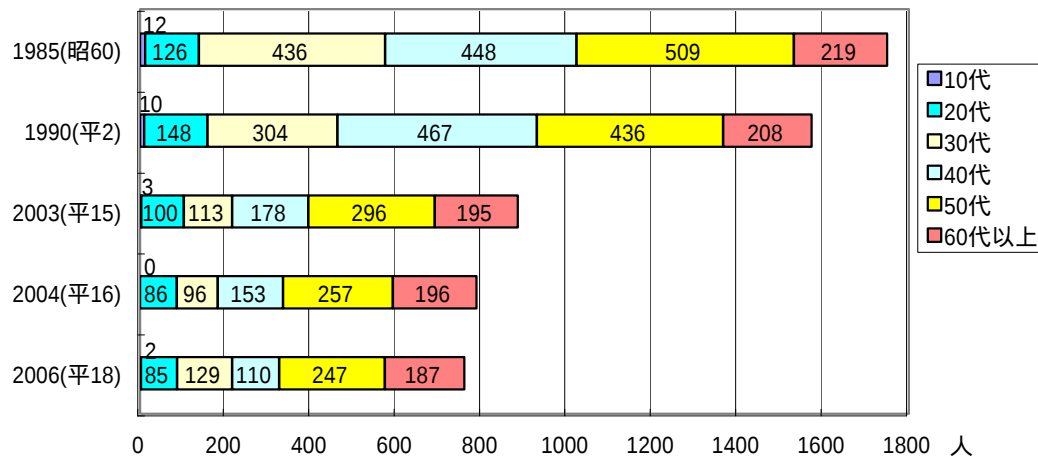
○着色

	1985(S60)	1990(H2)	2003(H15)	2004(H16)	2006(H18)	前回比(%)
事業所数(社)	76	69	53	48	52	108.3
従事者数(人)	410	367	225	220	200	90.9

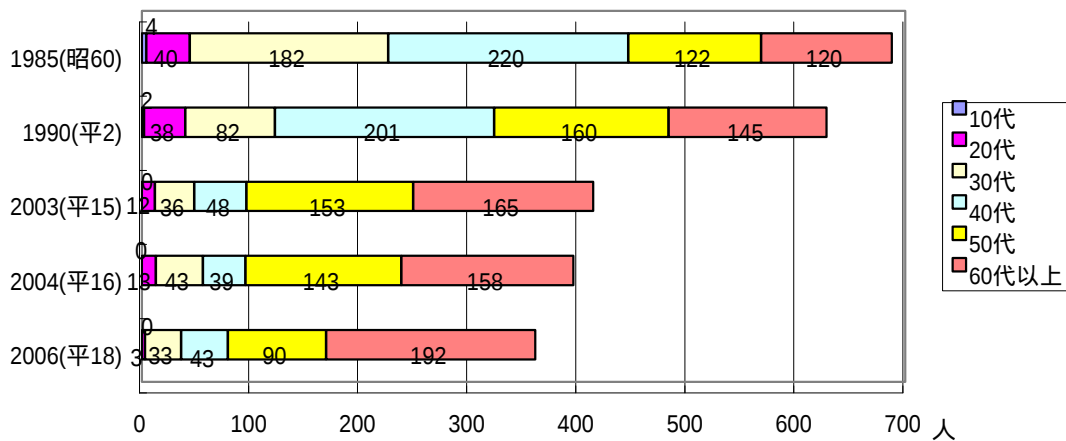
○仕上げ

	1985(S60)	1990(H2)	2003(H15)	2004(H16)	2006(H18)	前回比(%)
事業所数(社)	22	18	16	16	17	106.3
従事者数(人)	49	46	28	28	26	92.9

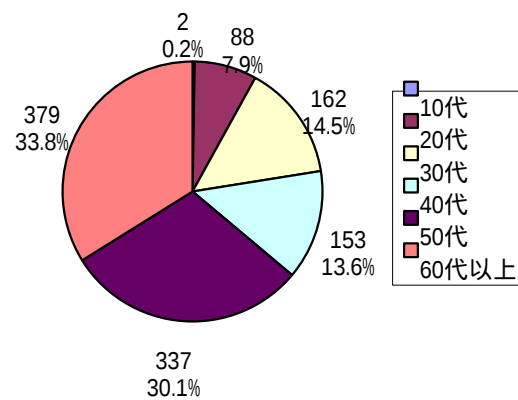
鑄造業従事者の年齢構成の推移



加工業従事者の年齢構成の推移

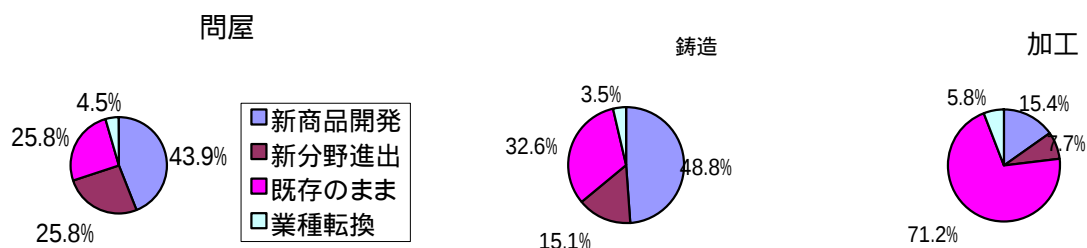


銅器製造及び加工業者の年齢構成



意識調査について】

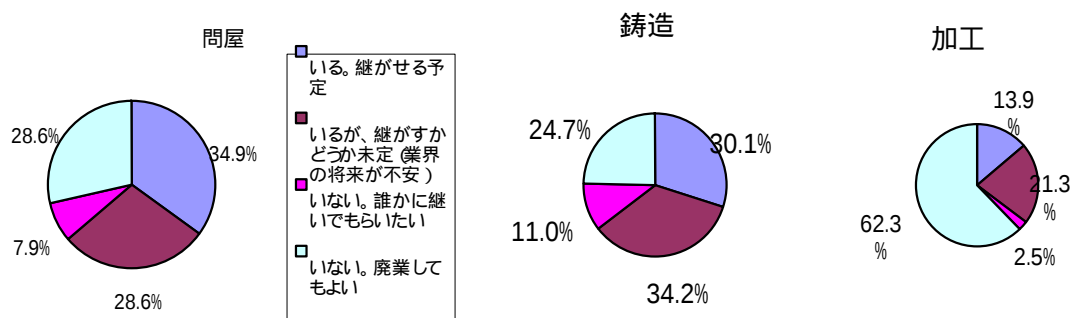
1 今後の方向性



問屋や鋳造業者については、新商品開発や新分野進出を考えているとの回答割合が高い。一方、加工業者は既存のままでよい、との回答割合が7割以上と高い。これは、自分の技術に誇りを持つ一方、他の活用方法がなかなか見つけれないことなどが考えられる。高岡銅器の加工技術の高さは、高い評価を得ており、例えば、彫金技術のジュエリー等への活用など、異分野での活用が求められる。

なお、鋳造業者では業種転換を図るとの割合が低い、既に銅器製造を廃止し、機械部品製造などに業種転換している企業が増加している。

2 後継者について



後継者候補がいるとの回答は、問屋、鋳造において比較的高いが、継がすかどうか未定の割合も約3割と高い。業界の将来の先行きが見えないという業者の苦悩が垣間見られる。

また、鋳造業者では、後継者はいないが、自分の培った技術を誰かに伝えたいとの意識が比較的高い。企業買収などによる新たな技術伝承の手法も考えられる。

加工業については、自分の代で廃業しても良いとの回答が6割強と非常に高い。これは、高齢化がかなり進んでいることや、受注が激減し、改善が見られないことなどが考えられる。これまで培ってきた高度な伝統技法・技術を伝承するべく、早急な後継者対策が必要である。